

早明浦ダム

吉野川水系吉野川

早明浦ダムは、吉野川総合開発計画の中核をなすもので、洪水調節、各種既得用水の安定取水、年間8.63億 m^3 の用水開発による四国四県への供給及び発電を行うため、吉野川水系吉野川(左岸:高知県長岡郡本山町吉野、右岸:同土佐郡土佐町田井)に建設した有効貯水容量28,900万 m^3 、堤高106.0mの重力式コンクリートダムです。

洪水調節

早明浦ダム地点において、計画高水流量4,700 m^3/sec のうち、2,700 m^3/sec の洪水調節を行います。

流水の正常な機能の維持

流水の正常な機能を維持するために必要な流量として池田地点において、かんがい期最大43.0 m^3/sec 、非かんがい期15.0 m^3/sec を確保します。

新規用水の供給

ダムにより年間8億6,300万 m^3 の用水を開発して四県に供給します。

発電

ダム左岸側の発電所(電源開発)において、最大出力42,000kwの発電を行います。

工期

昭和38年4月(昭和42年4月1日建設省から公団に承継)から昭和53年3月

総事業費

331.5億円

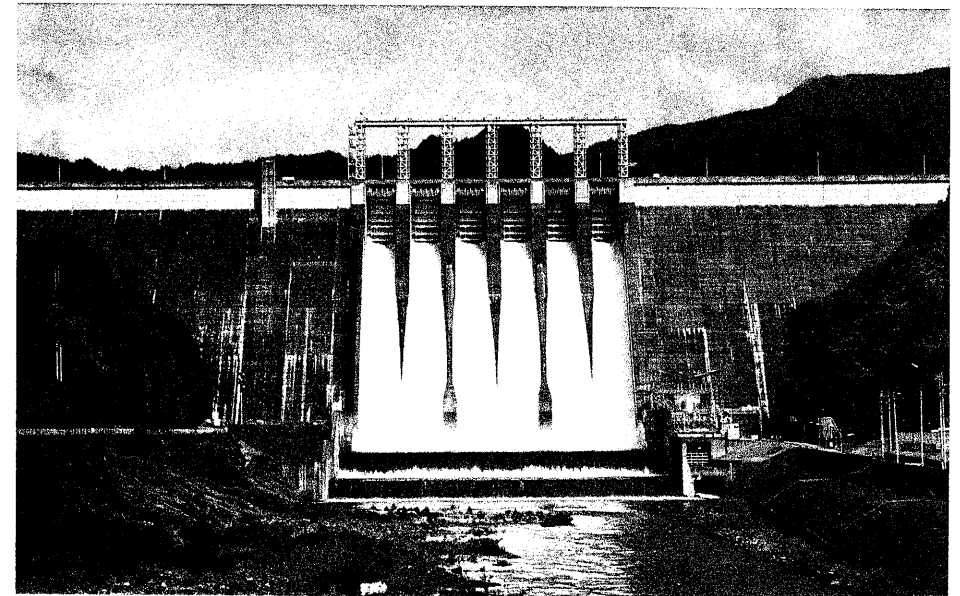
管理開始

昭和50年4月1日

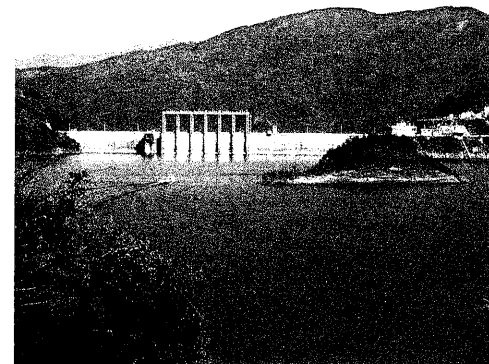
施設の概要

ダム		貯水池		放流設備		水没・補償				
河川名	吉野川水系吉野川	湛水面積	7.5km ²	利	選択取水設備型式	鋼製三段式半円形ローラーゲート	水没戸数 一般387世帯 公共 56棟			
位置	左岸 高知県長岡郡 本山町吉野	洪水時満水位	EL.343.0m	水	放流管パイプ型式	ホロージェットバルブ				
	右岸 高知県土佐郡 土佐町田井	常時満水位	EL.331.0m		門数(管径長)	2条(径2.0m)	田畑	20.1ha		
集水面積	472km ² (汗見川取水55km ² を含む)	最低水位	EL.275.0m	用	設置標高(管中心)	EL.262.0m	対象流量	最大70 m^3/sec (WL343~275)	宅地	14.5ha
		ダム天端有効水深	68.0m				総貯水容量	316,000,000 m^3	山林	612.8ha
地質	石英石黒片岩	有効貯水容量	289,000,000 m^3	洪水調節	型式	ローラーゲート(クレスト)	6門	道	草原	7.0ha
		死水容量	10,000,000 m^3						調節位置	(巾10.4m×高18.8m) (敷高) EL.325.0m
型式	重力式 コンクリートダム	堆砂量	17,000,000 m^3	用	門数	6門	置	地		
		洪水調節容量	90,000,000 m^3 (80,000,000 m^3)					発電容量	26,000,000 m^3 (36,000,000 m^3)	町道付替
堤高	106.0m	利水容量	173,000,000 m^3	発電	調節流量	2,700 m^3/sec	最大使用水量			
		堤頂長	400.0m					計画高水流量	4,700 m^3/sec	最大出力
堤体積	1,200,000.0 m^3	計画放流量	2,000 m^3/sec	最大落差	76.0m	工期	S38年4月~S53年3月			
堤頂巾	6.0m							調節流量	2,700 m^3/sec	年間発生電力量

注)貯水池欄の()は非洪水期容量を示します。

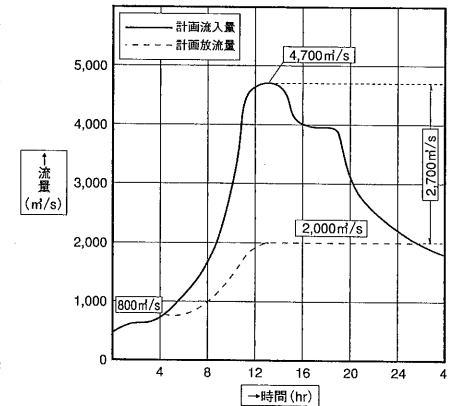


ダム正面

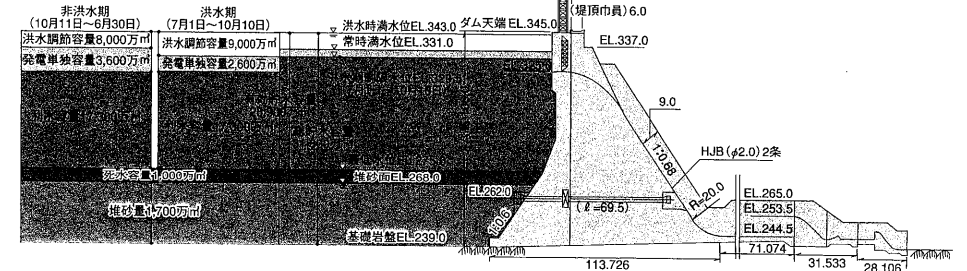


貯水池

洪水調節図



貯水池容量配分図



池田ダム

吉野川水系吉野川

池田ダムは、吉野川総合開発計画の要として、洪水調節、低水流量の調整、吉野川北岸用水ならびに香川用水に必要な取水位の確保及び発電を行うため、吉野川水系吉野川(左岸:徳島県三好郡池田町西山、右岸:同ウエノ)に建設した有効貯水容量440万 m^3 、堤高24.0mの重力式コンクリートダムです。

洪水調節

池田ダム地点において、計画高水流量11,300 m^3/sec のうち、200 m^3/sec の洪水調節を行います。

流水の正常な機能の維持

流水の正常な機能を維持するため、早明浦ダム地点から池田ダム地点間の到達時間の変動等による低水時の流量の変動を、EL.87.5mから88.1mまでの調節容量80万 m^3 を利用して調節し、早明浦ダムの操作とあわせて下流既得用水の取水の安定化を図ります。

吉野川北岸用水(かんがい用水)及び香川用水(かんがい用水・都市用水)の取水

吉野川から吉野川北岸用水及び香川用水を取水するために、最低水位EL.87.5mを確保します。

発電

ダム右岸側の発電所(四国電力)において、最大出力5,000kwの発電を行います。

工期

昭和43年9月から昭和50年3月

総事業費

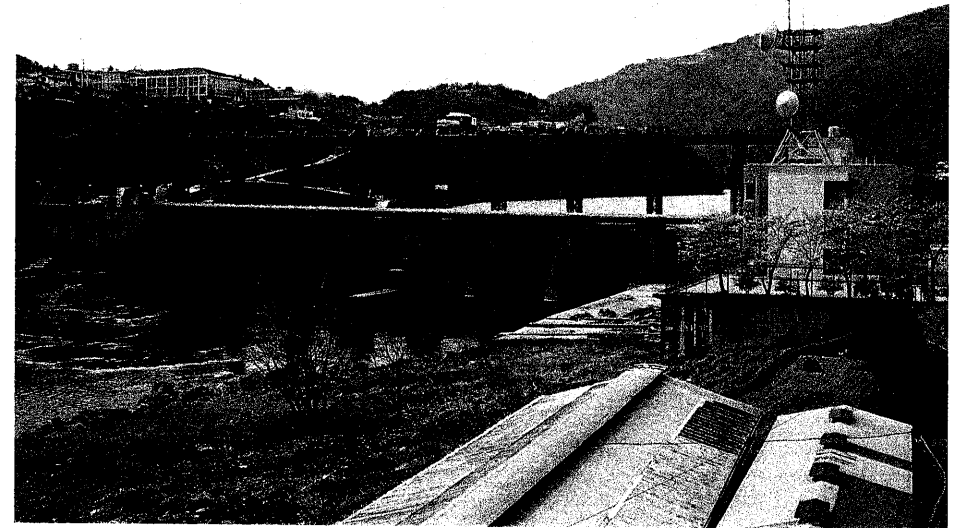
74.1億円

管理開始

昭和50年4月1日

施設の概要

ダ ム		貯 水 池		放 流 設 備			水 没 ・ 補 償					
河川名	吉野川水系吉野川	湛水面積	1.4 km^2	利水用 型門 流位	式 数 量 置	-	水没戸数	一般	2戸			
位 置	左岸 徳島県三好郡池田町西山	洪水時満水位	EL.90.7m					洪水調節用 型門 式数 位置	ローラーゲート(グレスト) 9門 (巾15.0m×高13.7m)-7門 (巾15.0m×高8.7m)-2門 (敷高)EL.77.0m-7門 EL.82.0m-2門	土 宅 山 原 草 生 地 墓 地 その他	公共	1棟
		常時満水位	EL.88.1m								田	12.0ha
	最低水位	EL.87.5m	畑	2.0ha								
	ダム天端	EL.94.5m	地	0.5ha								
右岸 徳島県三好郡池田町ウエノ	有効水深	3.2m	山林野	34ha								
	総貯水容量	12,650,000 m^3	4ha	地	—							
集水面積	1,904 km^2	有効貯水容量	4,400,000 m^3	道	—	—	—	—				
地 質	和泉砂岩層	死水容量	8,250,000 m^3	路	—	—	—	—				
		洪水調節容量	4,400,000 m^3	町村林道付替	—	—	—	—				
型 式	重力式コンクリートダム	低水調整容量(発電容量)	800,000 m^3	発 電	最大使用水量	62 m^3/sec	工 期	S43年9月～S50年3月				
堤 高	24.0m	計画高水流量	11,300 m^3/sec		有効落差	10.02m			最大出力	5,000KW		
堤頂長	247.0m	計画放流量	11,100 m^3/sec	年間発生電力量	30,000MWH	調節流量	200 m^3/sec					
堤体積	52,000 m^3											
設置位置	型式	落差	ダム利用水深	勾配	延長	巾員	隔壁間距り	隔壁間高低差	切欠	摘要		
右岸端	階段式魚道(47段)	最大11.5m (EL.86.5m～75.0m)	0.6m	1:14.3	164.75m	4.5m	3.0m	0.25m	巾1.0m・深0.2m	水位調節ゲート3門 洪水調節ゲート1門		

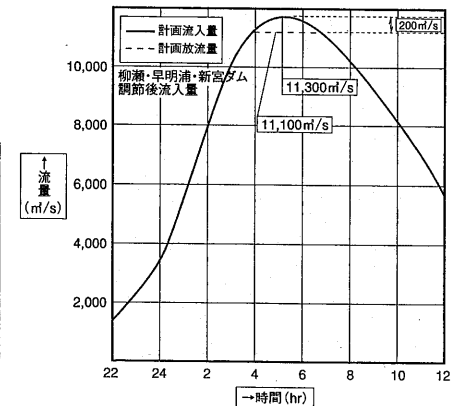


左岸下流より

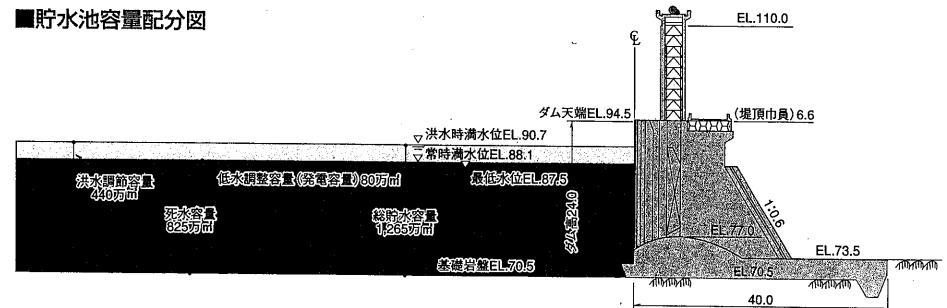


貯水池

洪水調節図



貯水池容量配分図



富郷ダム

吉野川水系銅山川

富郷ダムは、吉野川水系における治水事業の一環としての洪水調節と愛媛県伊予三島・川之江両市に対する都市用水（水道用水、工業用水）の供給及び発電を行うため、吉野川水系銅山川（愛媛県伊予三島市富郷町津根山）に建設した有効貯水容量4,760万 m^3 、堤高106.0mの重力式コンクリートダムです。

洪水調節

富郷ダム地点において、計画高水流量1,700 m^3/sec のうち800 m^3/sec の洪水調節を行います。

水道用水

銅山川上水道企業団の水道用水として、柳瀬ダム地点において、最大0.52 m^3/sec の取水を可能ならしめます。

工業用水

銅山川工業用水道企業団の工業用水として、柳瀬ダム地点において、最大1.48 m^3/sec の取水を可能ならしめます。

発電

ダムの建設に併せて愛媛県が新設した富郷発電所及び増設する銅山川第1発電所において、それぞれ最大出力2,900kw及び最大出力3,600kwの発電を行います。

工期

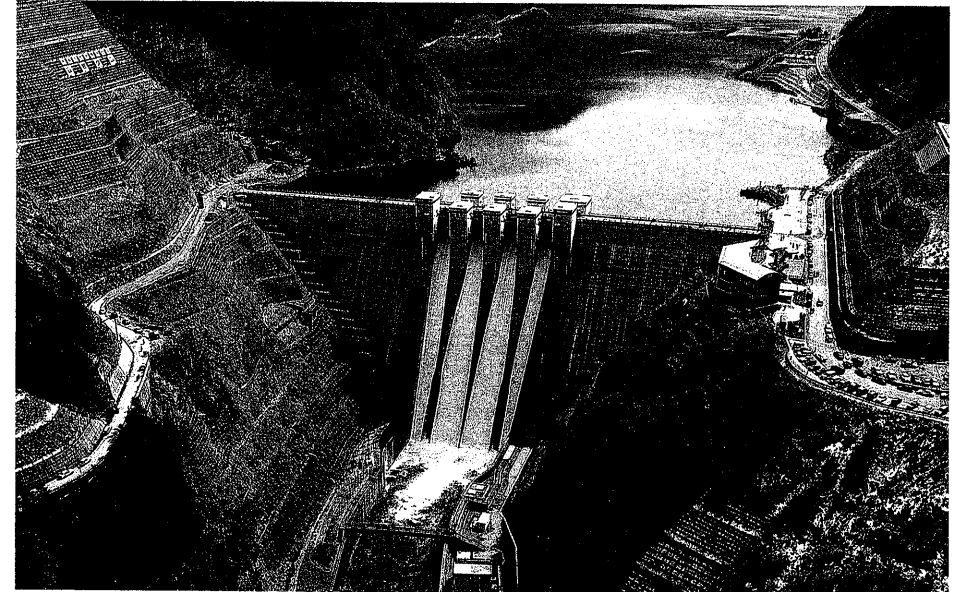
昭和49年4月（平成4年7月1日建設省から公団に承継）から平成13年3月

総事業費

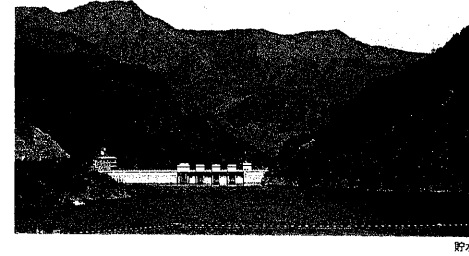
1,355億円

管理開始

平成13年4月1日

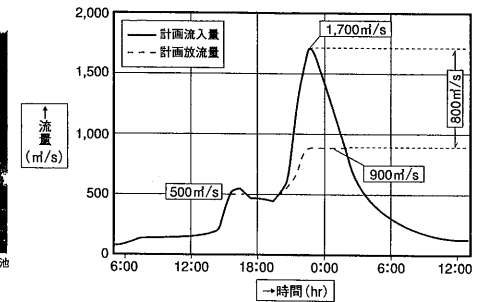


ダム正面上空より



貯水池

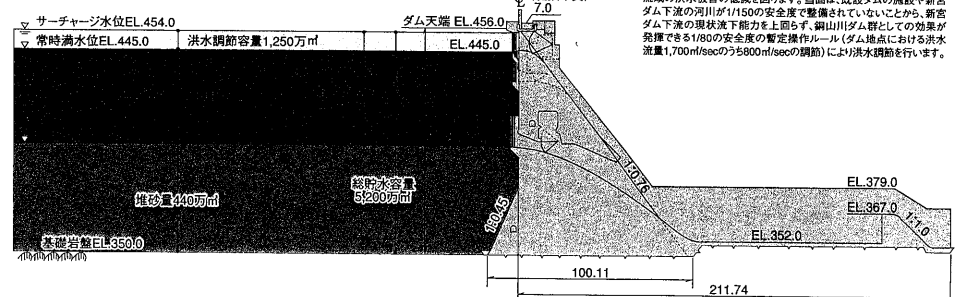
洪水調節図



施設の概要

ダム		貯水池		放流設備		補償概要	
河川名	吉野川水系銅山川	湛水面積	1.5 km^2	利水用	選択取水設備型式 放流管バルブ型式 門対設置標高(管中心)	円形多段式ゲート(6段) ジェットフロー又は高圧スライド 1套(径1.5m)	移転世帯 81世帯
位置	左岸 愛媛県伊予三島市 富郷町津根山	サーチャージ水位	EL.454.0m	洪水調節	常門数 型式 計画放流量	10.2 m^3/sec (EL.400.0m) EL.376.5m~370.0m	土田 畑 宅地 山林
	右岸 愛媛県伊予三島市 富郷町津根山	常時満水位	EL.445.0m			1門 (巾3.6m×高4.5m)	
集水面積	101.2 km^2	最低水位	EL.400.0m	非常用	型式 門数 計画放流量	2門 (巾4.0m×高5.0m)	道路 県道付替 市道付替 村道付替 橋梁 27ヶ所 トンネル 9ヶ所
		ダム天端	EL.456.0m			2門 (巾7.2m×高10.9m)	
地質	かんらん岩 結晶片岩	有効水深	45.0m	発電	型式 門数 計画放流量	ラジアルゲート(クレスト) 4門 (巾7.2m×高10.9m)	最大使用水量 90.0m ³ 有効落差 90.0m 最大出力 6,500KW(内新設分2,900KW、 増設分3,600KW) 年間発生電力量 33,780MWH(内新設分17,900MWH、 増設分15,880MWH)
		総貯水容量	52,000,000 m^3			1,800 m^3/sec (設計洪水位時 EL.454.8m)	
型式	重力式 コンクリートダム	有効貯水容量	47,600,000 m^3	調節流量	型式 門数 計画放流量	ラジアルゲート(クレスト) 4門 (巾7.2m×高10.9m)	調節流量 1,000 m^3/sec
		洪水調節容量	12,500,000 m^3				
堤高	106.0m	堆砂量	4,400,000 m^3	調節流量	型式 門数 計画放流量	ラジアルゲート(クレスト) 4門 (巾7.2m×高10.9m)	調節流量 1,000 m^3/sec
		堤体積	510,000 m^3				
堤頂巾	約250.0m	総貯水容量	52,000,000 m^3	調節流量	型式 門数 計画放流量	ラジアルゲート(クレスト) 4門 (巾7.2m×高10.9m)	調節流量 1,000 m^3/sec
		堤頂巾	7.0m				

貯水池容量配分図



洪水調節における暫定操作
富郷ダムは、吉野川水系の上流ダム群のひとつとして、1/150の安全度で計画されたもので、ダム地点における計画高水流量2,300 m^3/sec のうち1,000 m^3/sec を調節し、他のダムと合わせて吉野川流域の洪水被害の低減を図ります。当面は、既設ダムの施設や新設ダム下流の河川が1/150の安全度で整備されていないことから、新設ダム下流の現状流下能力を上回らず、銅山川ダム群としての効果が發揮できる1/60の安全度の暫定操作ルール(ダム地点における洪水流量1,700 m^3/sec のうち800 m^3/sec の調節)により洪水調節を行います。

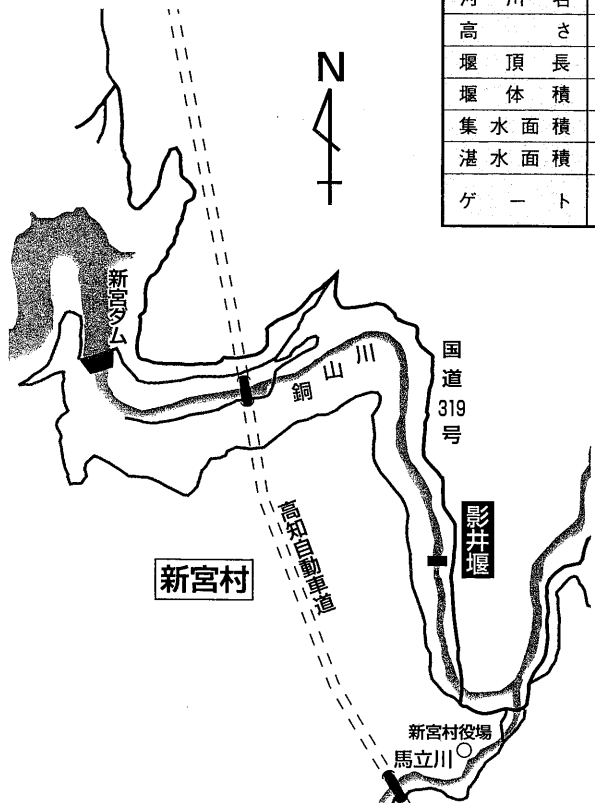
影井堰 (調整堰)

吉野川水系銅山川

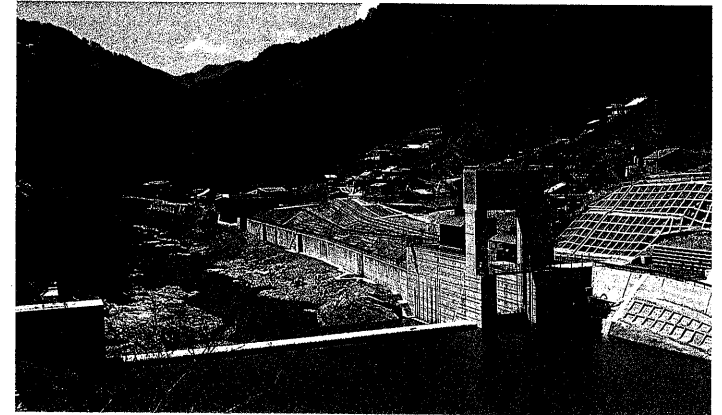
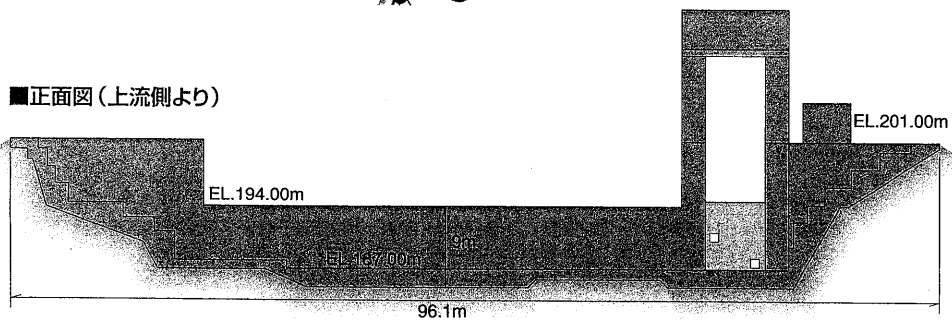
影井堰は、銅山川の河川環境の保全を図ることを目的として、新宮ダム下流約1.7km地点に堰高9.0m、堰長96.1mの固定堰を建設したものです。

■諸元

河川名	吉野川水系銅山川	
高さ	9.0m (固定部)	
堰頂長	96.1m	
堰体積	約7,300m ³	
集水面積	1.6km ²	
湛水面積	0.06km ²	
ゲート	大ゲート 6.2m×7.8m	1門
	小ゲート 0.45m×0.45m	2門



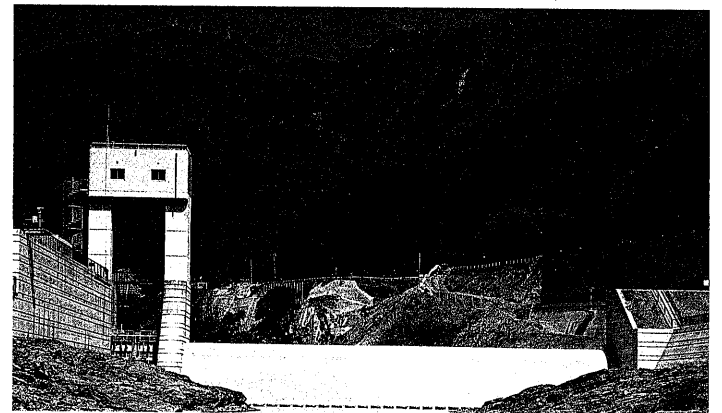
■正面図 (上流側より)



上流左岸より



下流右岸より



堰正面

新宮ダム

吉野川水系銅山川

新宮ダムは、吉野川水系における治水事業の一環としての洪水調節と吉野川総合開発計画の関連事業である愛媛分水及び発電を行うため、吉野川水系銅山川(愛媛県宇摩郡新宮村大字馬立)に建設した有効貯水容量1,170万 m^3 、堤高42.0mの重力式コンクリートダムです。

洪水調節

新宮ダム地点において、計画高水流量1,600 m^3/sec のうち、400 m^3/sec の洪水調節を行います。

かんがい用水

川之江地区の田畑・果樹園等に対し、かんがい期(6月6日～10月5日)に平均0.142 m^3/sec (最大0.490 m^3/sec)、非かんがい期(10月6日～6月5日)に平均0.0025 m^3/sec (最大0.163 m^3/sec)のかんがい用水を供給します。

工業用水

平均3.28 m^3/sec の工業用水を伊予三島・川之江地区に供給します。

発電

新宮ダムからの分水を利用した発電所(愛媛県:銅山川第三発電所)において、最大出力11,700kwの発電を行います。

工期

昭和44年4月から昭和51年3月

総事業費

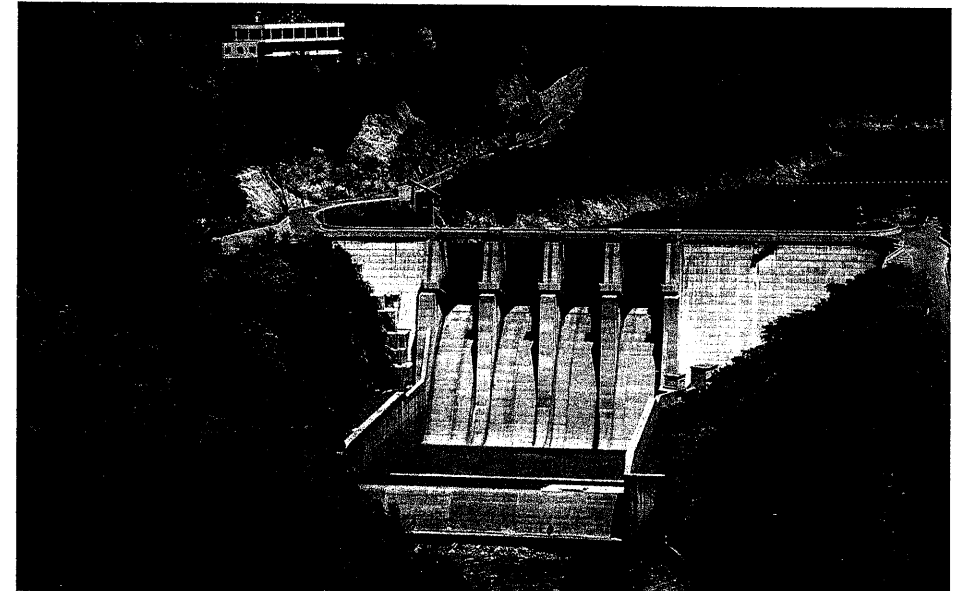
86.1億円

管理開始

昭和50年11月1日

施設の概要

ダム		貯水池		放流設備		水没・補償	
河川名	吉野川水系銅山川	湛水面積	0.9 km^2	貯水池型式	フィストコンバルブ	水没戸数	一般100戸
位置	左岸 愛媛県宇摩郡新宮村 大字馬立	洪水時満水位	EL.234.2m	流量維持用	7.68 m^3/sec (常時満水位) (敷高)EL.206.5m	田	公共 4棟
		常時満水位	EL.234.2m				
		最低水位	EL.211.0m				
右岸 同 上	ダム天端	EL.236.0m	型式	ラジアルゲート (クレスト)	宅地	山林	
	有効水深	23.2m					
	総貯水容量	13,000,000 m^3					
集水面積	全体 254.3 km^2 直接流域 214.9 km^2 馬立川流域 39.4 km^2	有効貯水容量	11,700,000 m^3	門数	4門 (市10.0m×高14.05m) (敷高)EL.221.0m	原野	草地
		死水容量	400,000 m^3				
		堆砂量	900,000 m^3				
地質	三波川系に属する砂質片岩	洪水調節容量	5,000,000 m^3	調節用	位置	地	墓地
		利水容量	6,700,000 m^3				
		非洪水期	11,700,000 m^3				
型式	重力式コンクリートダム	最大使用水量	8.0 m^3/sec	最大出力	11,700KW	道路	付替橋
		有効落差	180.0m				
		年間発生電力量	60,000MWH				
堤高	42.0m	計画高水流量	1,600 m^3/sec	最大出力	11,700KW	工期	S44年4月～S51年3月
		計画放流量	1,200 m^3/sec				
		調節流量	400 m^3/sec				
堤頂長	138.0m	貯水池型式	ラジアルゲート	最大出力	11,700KW	道路	付替橋
		堤体積	80,000 m^3				
		堤頂巾	4.5m				

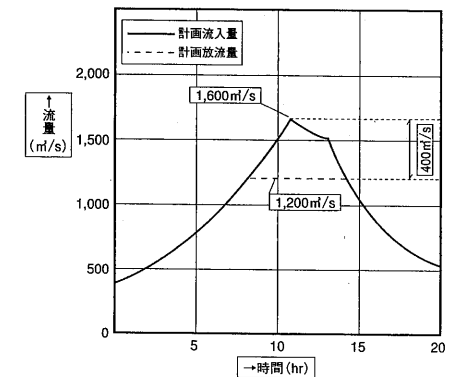


ダム正面

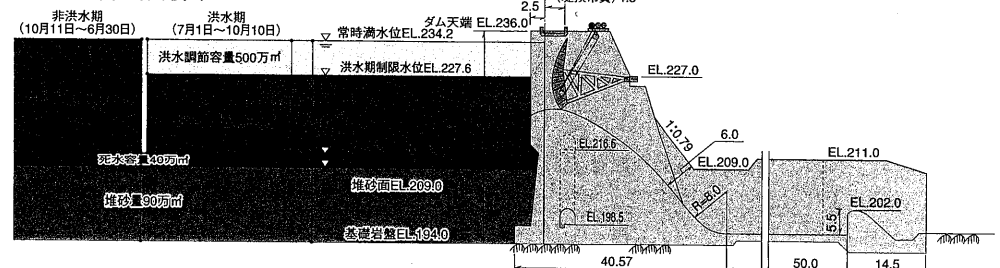


ダム上空より

洪水調節図



貯水池容量配分図



柳瀬ダム(国土交通省)

吉野川水系銅山川

柳瀬ダムは、吉野川総合開発事業に先駆けて、吉野川水系銅山川(愛媛県伊予三島市金砂町小川山)に建設した有効貯水容量2,960万 m^3 、堤高55.5mの重力式コンクリートダムで、四国では初めての多目的ダムです。

洪水調節

柳瀬ダム地点において、計画高水流量2,600 m^3/sec のうち、1,200 m^3/sec の洪水調節を行います。

かんがい用水

宇摩地域(土居町、伊予三島市、川之江市)の田畑・果樹園等に対し、かんがい期(6月6日～10月5日)に平均0.612 m^3/sec (最大1.54 m^3/sec)、非かんがい期(10月6日～6月5日)に平均0.0025 m^3/sec (最大0.157 m^3/sec)のかんがい用水を供給します。

水道用水

平均0.35 m^3/sec の水道用水を伊予三島・川之江地区に供給します。

工業用水

平均2.55 m^3/sec の工業用水を伊予三島・川之江地区に供給します。

発電

柳瀬ダムからの分水を利用した発電所(愛媛県:銅山川第一発電所)及び新宮ダムへの調水放流を利用した発電所(愛媛県:銅山川第二発電所)において、それぞれ最大出力10,700kw及び2,600kwの発電を行います。

工期

昭和24年から昭和29年3月

総事業費

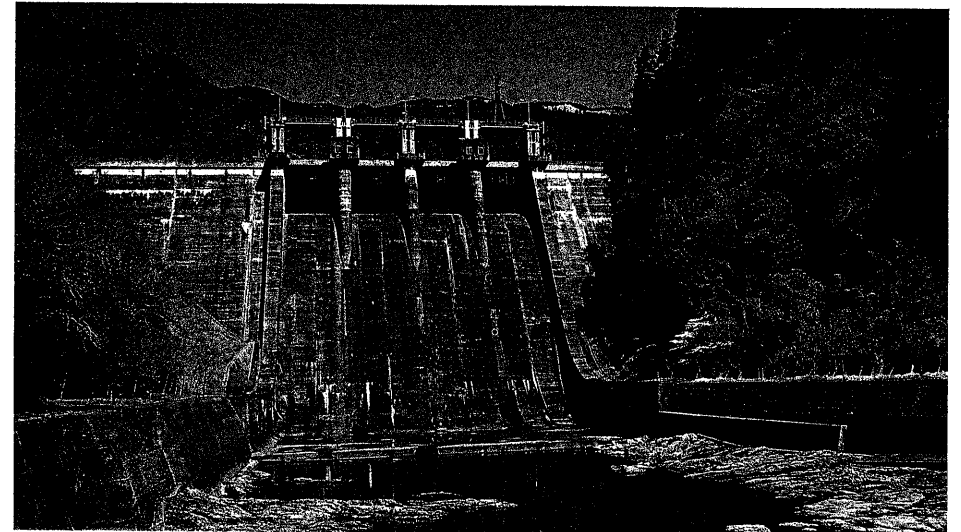
27.53億円

管理開始

昭和29年4月

施設の概要

ダ ム		貯 水 池		放 流 設 備	
河 川 名	吉野川水系銅山川	流 域 面 積	170.7 km^2 (内分水28.13 km^2)	クレストゲート	鋼製ローラーゲート (H) (B) 9.00×10.625 4門 EL.281.00m(敷高)
位 置	愛媛県伊予三島市 金砂町小川山	湛 水 面 積	1.55 km^2 (サーチャージ水位)		
		湛 水 延 長	7.98km		
型 式	重力式コンクリートダム	流 路 延 長	38.96km	放流バルブ	高圧スライドバルブ 0.8m×0.8m 1門 EL.254.55m(敷高)
堤 高	55.5m	洪水時満水位	290.00m		
堤 頂 長	140.7m	常時満水位	289.50m		
堤 体 積	131,000 m^3	最 低 水 位	257.00m	発 電	最大出力(第1) 10,700KW
ダム設計水位標高	291.00m	有 効 水 深	32.50m		
越流部標高	281.00m	総貯水容量	32,200,000 m^3		
非越流部標高	291.50m	有 効 貯 水 容 量	29,600,000 m^3	最大出力(第2) 2,600KW	
基礎岩盤高	236.00m	堆 砂 量	2,600,000 m^3		
地 質	石炭片岩が主で石英が脈状に入る。	計 画 高 水 流 量	毎秒2,600 m^3/s		
		計 画 放 流 量	毎秒1,400 m^3/s		
		調 節 流 量	毎秒1,200 m^3/s		

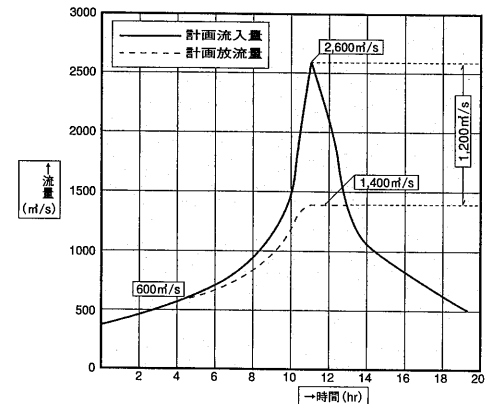


ダム正面

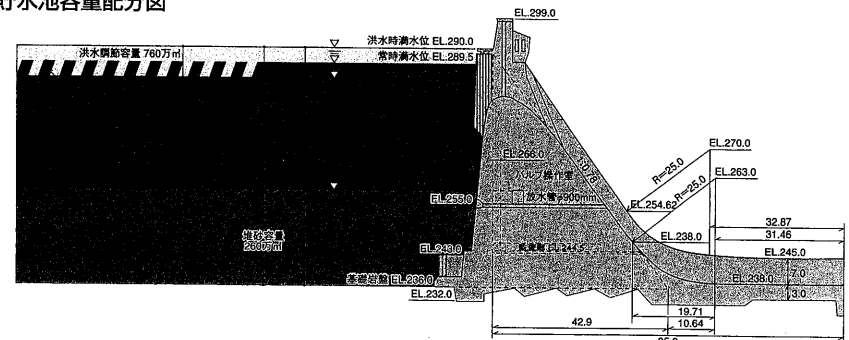


貯水池

洪水調節図



貯水池容量配分図



高知分水

吉野川水系瀬戸川・地藏寺川・平石川

高知分水事業は、早明浦ダムを中核とした「吉野川総合開発計画」の一環として、吉野川水系瀬戸川及び同水系地藏寺川支川平石川の流水を鏡川に導水し、鏡ダムの運用と相まって都市用水を確保するとともに、その供給に支障を与えない範囲内で吉野川との落差を利用した発電を行うため、四国電力(株)が天神発電所を建設したものです。

水道用水

高知市と周辺地区の水道用水として、平均0.73 m³/secを供給します。

工業用水

高知県の工業用水として、平均0.5 m³/secを供給します。

発電

高知県土佐郡土佐山村に設置した天神発電所(四国電力)において、有効落差236.2mを利用し、最大出力11,800kwの発電を行います。

工期

昭和46年9月から昭和53年3月

総事業費

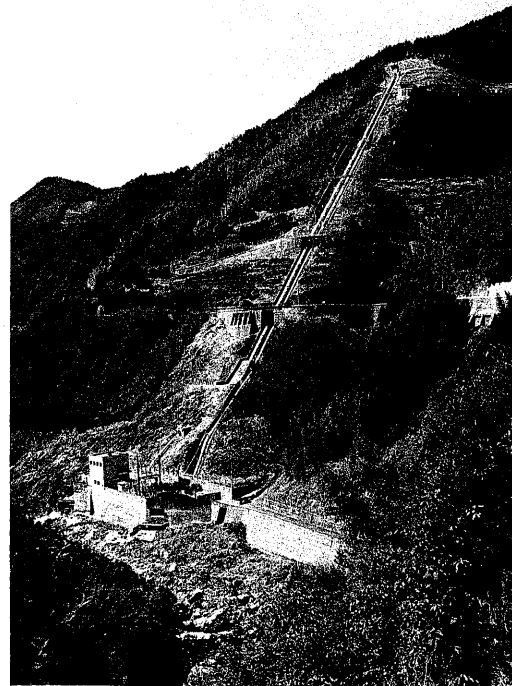
71.8億円

管理開始

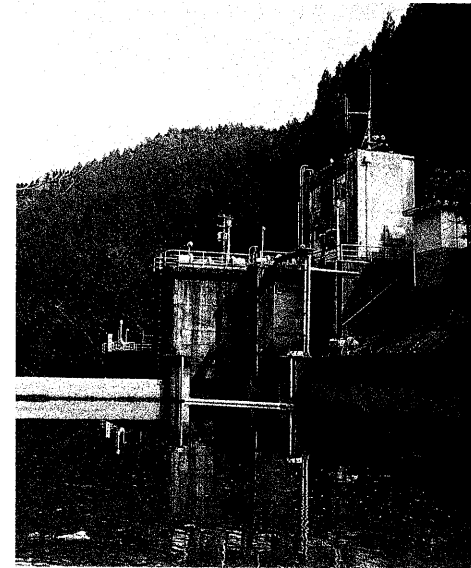
昭和53年7月11日

施設の概要

瀬戸川取水施設	位置	高知県土佐郡土佐町南川
	流域面積	53.7km ²
	取水量	最大 4.4m ³ /sec
瀬戸川導水路	規模	堰高 12.2m 堰長 57.85m
	通水量	最大 4.4m ³ /sec 延長 4,538m
地藏寺川取水施設	位置	高知県土佐郡土佐町西石原
	流域面積	19.2km ²
	取水量	最大 6.0m ³ /sec
地藏寺川導水路	規模	堰高 7.0m 堰長 29.8m
	通水量	最大 6.0m ³ /sec 延長 9,419m
天神発電所	使用水量	最大 6.0m ³ /sec
	有効落差	最大 236.2m
	最大出力	最大 11,800KW
工期	S46年9月～S53年3月	

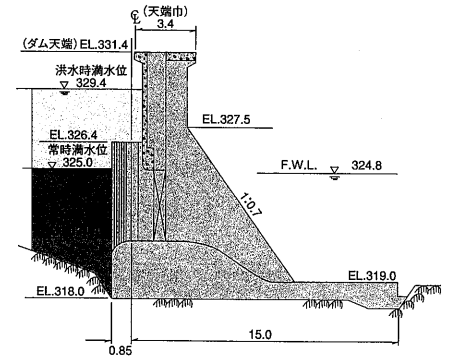


鏡川への放水口と天神発電所

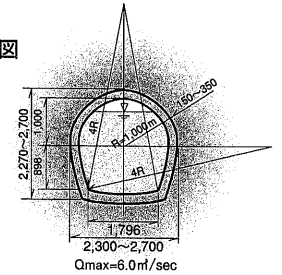


地藏寺川取水堰

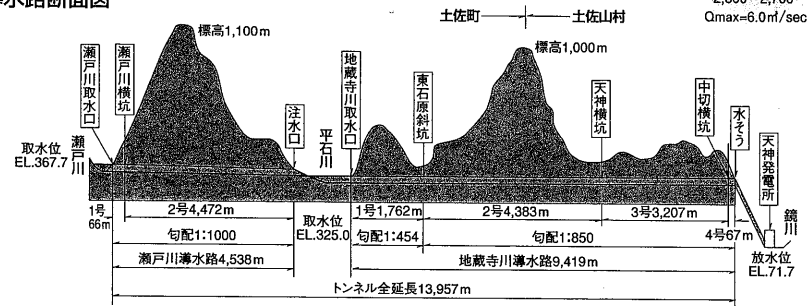
■地藏寺川取水施設標準断面図(排砂部)



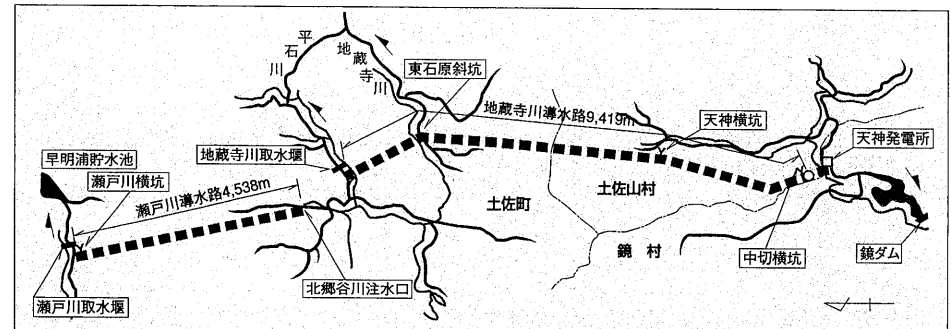
■トンネル標準断面図



■導水路断面図



■導水路平面図



旧吉野川河口堰

吉野川水系旧吉野川・今切川

旧吉野川は、吉野川河口から15km地点の左岸に設けられた第十樋門から分派した後、東流して北島町高房において再び今切川を分派し、蛇行して紀伊水道に注ぐ延長24.7kmの緩やかな平地河川で、表流水を水源とする約6,400haの穀倉地帯を擁しています。

旧吉野川及び今切川の流路はほとんどが感潮部に位置するため、従前旧吉野川ならびに今切川の河口部に設けられていた潮止め樋門により塩害を防止し、確保された水位により取水してきましたが、南海地震（昭和21年）による被害及び老朽化によって潮止めの効果が低減しました。一方、本流域の都市化にともなって、水道用水、工業用水の新規水需要が発生し新たな水開発が強く要請されてきました。

このような状況に応じるため、旧吉野川、今切川両潮止め樋門を撤去し、旧吉野川河口堰（約192m）及び今切川河口堰（約220m）を新設したものです。

洪水の防御

旧吉野川の河川改修と河口堰によって、洪水の疎通能力を増大させ、流域を洪水から守ります。

工期

昭和44年4月から昭和51年3月

流水の正常な機能の維持

河口堰によって海水の遡上を防止し、塩害を防ぎます。

総事業費

69.9億円

水道用水、工業用水の取水

水道用水及び工業用水の安定した取水と導入距離の短縮を図ります。

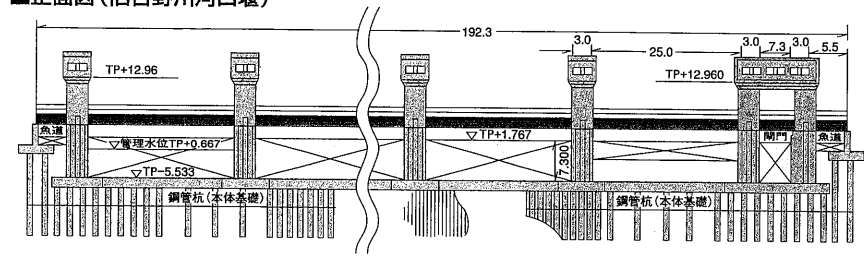
管理開始

昭和51年7月1日

施設の概要

施設名(河川名)		旧吉野川河口堰(吉野川水系旧吉野川)	今切川河口堰(吉野川水系今切川)
位置	右岸 左岸	徳島県板野郡松茂町中喜来 同上	徳島県徳島市川内町榎瀬 徳島県板野郡北島町鯛浜
計画 管理 環境 堰天 堰水 門部	画高水位	TP + 2.947m	TP + 3.277m
	画高水流	800m ³ /sec	1,100m ³ /sec
	理水位	TP + 0.667m	TP + 0.667m
	延水	192.3m(可動部178.3、固定部14.0)	220.3m(可動部206.3、固定部14.0)
	天端高	TP + 1.767m	TP + 1.767m
堰数	端高	TP - 5.533m	TP - 4.233m
	部延高	168.3m	193.3m
水門	ゲート	鋼製殻型ローラーゲート、6門 径間25.0m×扉高7.3m	鋼製殻型ローラーゲート、7門 径間25.0m×扉高6.0m
	有効幅×延長	7.3m×25.0m	7.3m×36.0m
開門	ゲート	鋼製ローラーゲート、1径間(2門) 径間7.3m×扉高7.3m	鋼製ローラーゲート、1径間(2門) 径間7.3m×扉高6.0m
	ゲート	フラップゲート、2門 径間5.5m×直立高1,812m	フラップゲート、2門 径間5.5m×直立高1,882m
附属設備 (鋼川開門)	有効幅×延長	6.0m×41.0m	
	ゲート	鋼製ローラーゲート、2門 径間6.0m×扉高3.5m	
工期(本体工事)		48.6~50.10	46.6~49.7

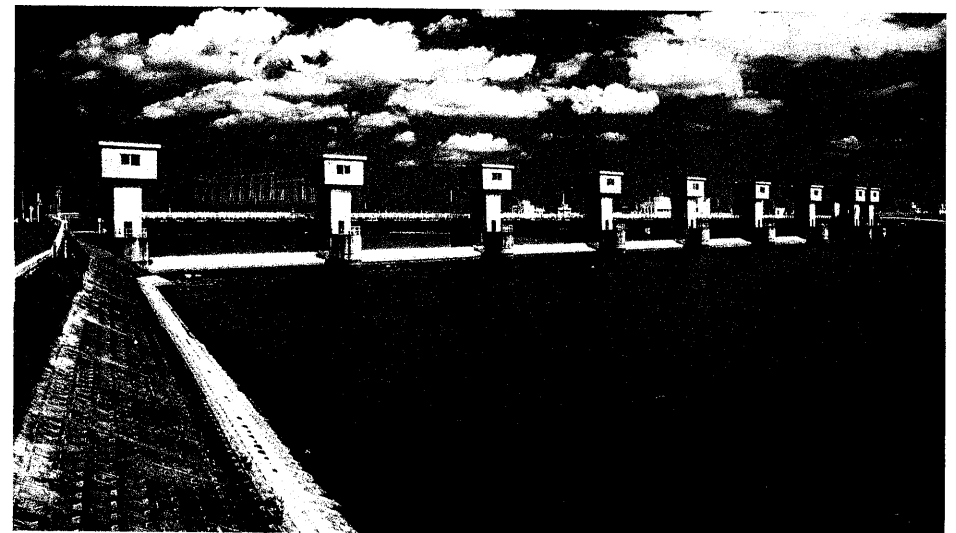
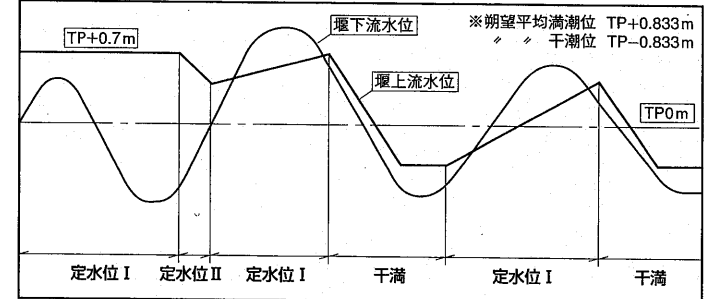
正面図(旧吉野川河口堰)



堰の操作形式

かんがい期(3月1日~9月30日)は5日間を周期とし、3日間は取水のための定水位操作、2日間は内水排除のための干満操作を行う(3滞2落)、非かんがい期(10月1日~2月末日)は内水排除のための干満操作を行います。
ただし、洪水の時は全ゲートを開放して洪水を疏通させます。

旧吉野川河口堰操作模式図



今切川河口堰…左岸上流より

香川用水

吉野川本川導水

香川用水は、池田ダムの上流1.8kmに設けた取水工より導水し、阿讃山脈を貫く約8kmの導水トンネルにより香川県に導き、別に国が行った国営香川用水農業水利事業等と相まって、讃岐平野の農地に対し必要なかんがい用水の補給を行うとともに、香川県の水道用水及び工業用水の供給を行うため、香川用水路約106kmのうち、農業用水・水道用水・工業用水が共用する共用区間(最大通水量15.8m³/sec)延長約47kmを建設したものです。

なお、国営香川用水農業水利事業は、昭和43年10月に着工し、56年3月に完了しました。

導水量

導水量は農業用水として最大11.3m³/sec、工業用水0.63m³/sec、水道用水3.87m³/secであり、年間2億4,700万m³です。

工期

昭和43年10月から昭和50年3月

供給対象地域

農業用水は約31,000haの水田、畑地をかんがいます。工業用水は坂出・丸亀地区に供給します。水道用水は高松市など5市27町に供給します。

総事業費

148.1億円

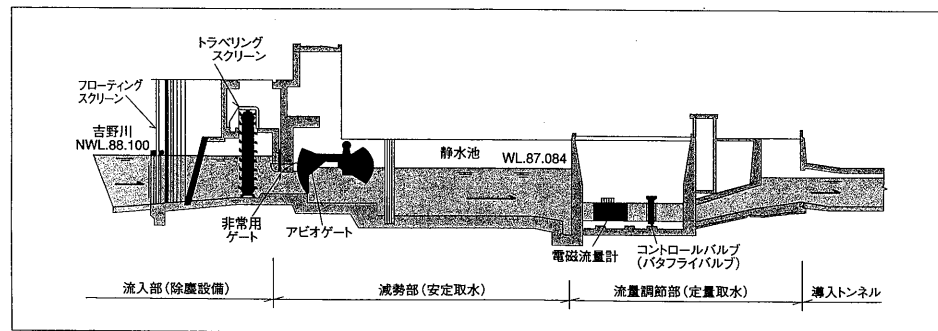
管理開始

昭和50年4月1日

施設の概要

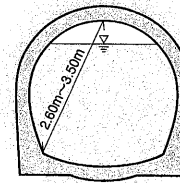
区分	共専別	区間および通水断面	延長	実施区分
幹支線水路	取水施設	池田 取水量 15.8 m ³ /sec	1ヶ所	水資源開発公団
	導水施設	池田～財田 通水量 15.8 m ³ /sec	8km	水資源開発公団
	東部幹線	財田～古川 通水量 14.3～6.6 m ³ /sec	35km	水資源開発公団
	西部幹線	古川～宮奥池 通水量 4.6～0.2 m ³ /sec	39km	国(農林水産省)
	高瀬支線	財田～大野原 通水量 1.5～1.0 m ³ /sec	10km	国(農林水産省)
	和田支線	神田～二宮 通水量 2.23 m ³ /sec	4km	水資源開発公団
		二宮～満水池 通水量 1.33～0.78 m ³ /sec	7km	国(農林水産省)
		大野原～豊浜 通水量 0.35 m ³ /sec	3km	国(農林水産省)
工期	公団事業 S43年10月～S50年3月 国営事業 S43年10月～S56年3月			

取水工縦断面図

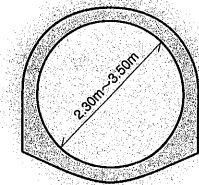


水路標準断面図

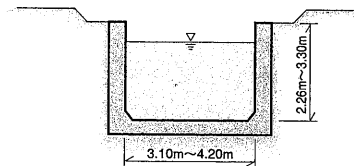
トンネル標準断面図



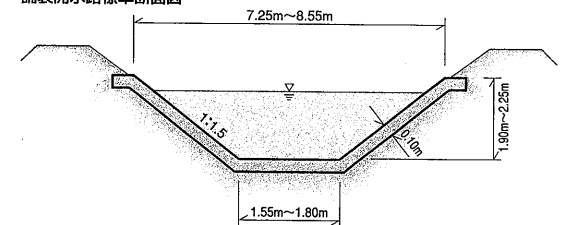
円形サイホン標準断面図



フレーム型水路標準断面図



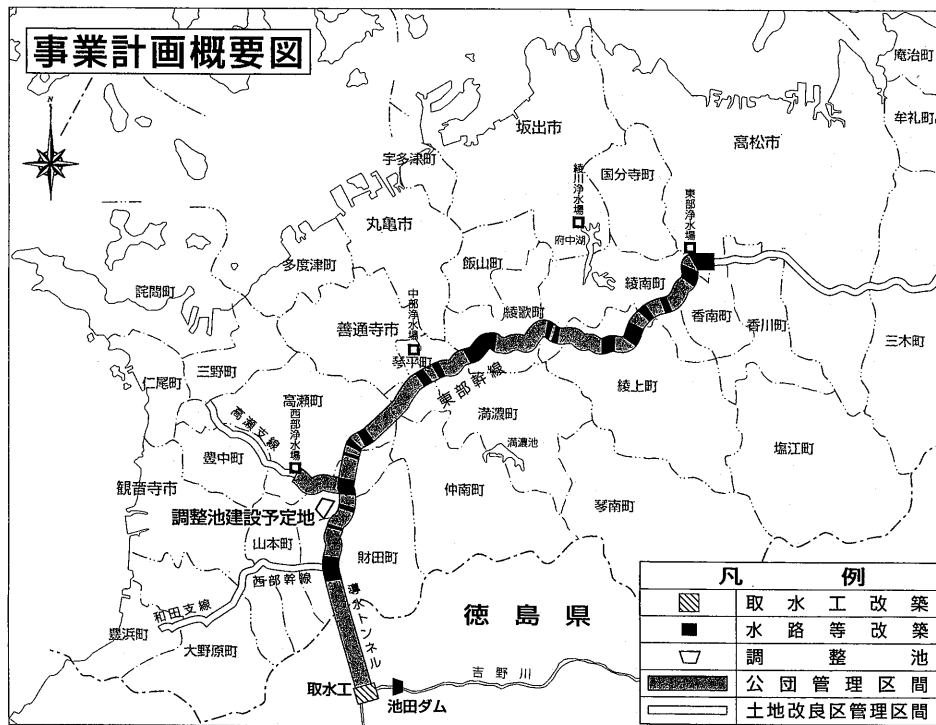
舗装開水路標準断面図



香川用水施設緊急改築 (建設中) — 吉野川本川 導水

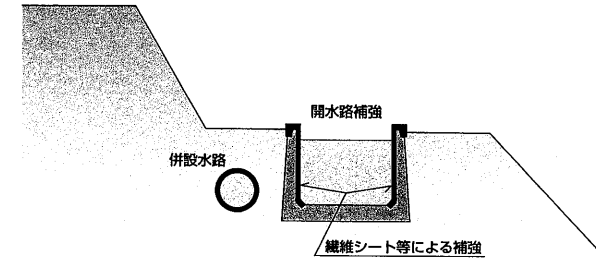
香川用水施設緊急改築事業は、緊急に対策が必要な水路施設等を改築し、水の安定供給と施設の安全性の確保を図るとともに、事故時・地震時等の緊急水源・代替水源として活用し、更に渇水による断水等の影響緩和を可能とする調整池を設置するものです。

共用施設			工期
取水工	除塵施設補強	一式	平成11年11月から平成20年3月(完成予定)
東部幹線水路	水路補強	延長約9km	
	併設水路	延長約10km	共用施設 平成11年度～平成17年度
操作施設等		一式	専用施設 平成11年度～平成20年度
水道専用施設(調整池)			総事業費
調整池(有効貯水容量約300万㎡)	1カ所		約414億円
連絡水路	延長約4km		

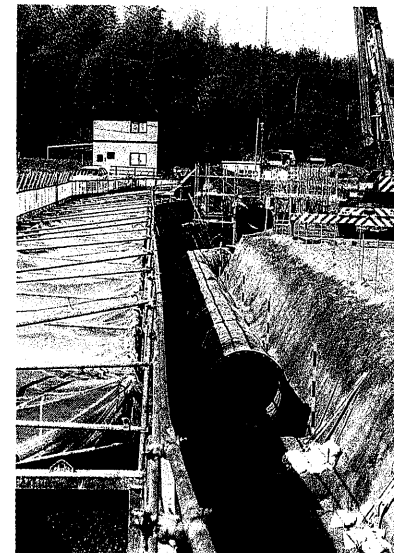
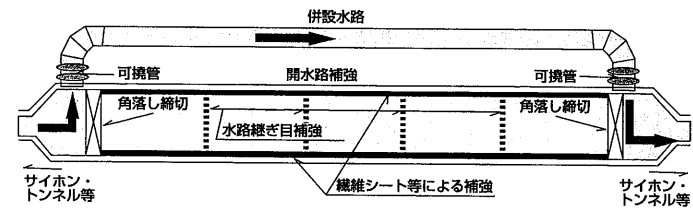


開水路改築概念図

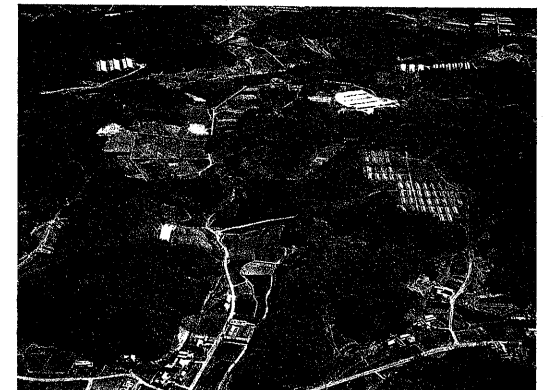
■断面図



■平面図



併設水路施工状況



調整池建設予定地